

グリーン農薬総覧

2015



公益社団法人 緑の安全推進協会

グリーン農薬総覧 2015年総合版 目次

グリーン農薬総覧(2015年版)の刊行に当たって

編集基準	1
殺虫剤	7
殺菌剤	141
除草剤	253
植物成長調整剤	435
家庭用園芸剤・その他	457
付録	521
芝害虫、病害及び雑草防除登録農薬一覧	
(1) 殺虫剤	522
(2) 殺菌剤	524
(3) 除草剤	528
樹木及び樹木類適用病虫害並びに雑草防除登録農薬一覧	532
(1) 殺虫剤	533
(2) 殺菌剤	575
(3) 殺虫殺菌剤	596
(4) 植物成長調整剤	610
(5) その他	614
(6) マツ枯れ	616
(7) 樹木類の作物名別の防除剤	620
(8) 樹木等の除草剤	629
残留農薬基準(殺虫剤、殺菌剤、除草剤)	640
農薬関係法令	654
(1) 農薬取締法	654
(2) 農薬を使用する者が遵守すべき基準を定める省令	664
(3) ゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁の防止に係る暫定指導指針値	668
(4) ゴルフ場における農薬使用計画書の公表について	672
(5) ゴルフ場における農薬使用計画書の作成及び留意事項	673
(6) 住宅地等における農薬使用について	676
樹木等の病虫害防除に関する手引き	680
農薬ラベルの確認ポイント	691
索引	693
広告の紹介(広告掲載メーカー・防除業社等の紹介)	699

殺虫剤 成分名 商品名 索引

(成分名)	(商品名)
アセタミプリド	マツグリーン液剤・液剤2、モスビラン液剤・水溶剤・粒剤
アセフェート	オルトラン水和剤・粒剤、ジェイエース水溶剤・粒剤、スミフェート粒剤
アラニカルブ	オリオン水和剤40
イツキサチオン	カルホス乳剤、グリーンカルホス乳剤
イミダクロプリド	アドマイヤーフロアブル、タフバリアフロアブル・粒剤0.5
エトキサゾール	バロックフロアブル
エトフェンプロックス	サニーフィールド乳剤、サニーフィールドMC、トレボン乳剤・EW・MC
エマメクチン安息香酸塩	ショットワン・ツウ液剤
塩酸レバミゾール	センチュリーエース注入剤、マッケンジー
カルボスルファン	ガゼット粒剤
クロチアニジン	ダントツ水溶剤、フルスウィング、モリエートSC、モリエートマイクロカプセル
クロマフェノジド	マトリックフロアブル
クロラントラニリプロール	アセルプリン
クロルフェナビル	コテツフロアブル
クロルフルアズロン	ナイスイーグルSC
シアントラニリプロール	エスベランサ
ジノテフラン	スタークル顆粒水溶剤・粒剤、スターガード粒剤
シハロトリン	サイハロン水和剤
シベルメトリン	アグロスリン乳剤
酒石酸モランテル	グリーンガード グリーンガード・エイト グリーンガードNEO
スタイナーネマ・カーボカプサエ	バイオセーフ
スタイナーネマ・グラセイ	バイオトピア
ダイアジノン	オンダイアエース粒剤、ショットガン、ダイアジノン水和剤34・乳剤40・粒剤5・粒剤10・SLゾル、ランダイヤ粒剤
ダゾメット	バスアミド微粒剤
チアクロプリド	エコワンフロアブル、エコワン3フロアブル
チアメトキサム	アトラック液剤 ビートルコップ顆粒水和剤
チオジカルブ	リラークDF
テブフェノジド	ガードワン水和剤、ロムダンフロアブル
テブフェンピラド	ビラニカEW
テフルベンスロン	ショットイン乳剤、ノーモルト乳剤
トラロメトリン	スカウト乳剤、スカウトフロアブル
ネマデクチン	メガトップ液剤
ピネン油	マダラコール
ピフェントリン	テルスター水和剤、パンチショットフロアブル
ピリダリル	シバマル
ピリミホスメチル	アクテリック乳剤
フォールウェブルア	ニトルアー〈アメシロ〉
フルバリネート	マブリック水和剤20
フルベンジアミド	スティンガーフロアブル タフスティンガーフロアブル
プロチオホス	トクチオン細粒剤F・乳剤
プロフェノフォス	エンセダン乳剤
ペルメトリン	エンバーMC
ベンスルタップ	ルーバン水和剤・粒剤
ベンフラカルブ	オンコル粒剤5、オンダイアエース粒剤
ホスチアゼート	ネマトリンエース粒剤、ネマバスター
マシン油	スプレーオイル
マラソン	スミソン乳剤
ミルベメクチン	マツガード
メスルフェンホス	ネマノーン注入剤
メソミル	ランダイヤ粒剤
メトキシフェノジド	グレモSC
BPMC	アストロ乳剤、シバラックMC、T-7.5バイサン乳剤
BT	ゼンタリー顆粒水和剤、デルフィン顆粒水和剤、トアロー水和剤CT・フロアブルCT、バシレックス水和剤
DMTP	スブラサイド乳剤40
MEP	シバラックMC、スミソン乳剤、スミバイン乳剤、スミバインMC、スミトップM粉剤
MPP	バイジット乳剤、ファインケムB乳剤、T-7.5バイサン乳剤、T-7.5バイセフト乳剤50

(注) ・本表では剤型名を省略している。・混合剤は含有する成分にそれぞれ記載している。

殺虫剤目次

アクセルフロアブル	9	ダイアジノン粒剤5	76
アクタラ顆粒水溶剤	10	ダイアジノン粒剤10	77
アクテリック乳剤	11	ダイアジノンSLゾル	78
アグロスリン乳剤	12	タフスティンガーフロアブル	79
アストロ乳剤	13	タフバリアフロアブル	80
アセルプリン	14	タフバリア粒剤0.5	82
アディオン乳剤	15	ダントツ水溶剤	83
アドマイヤーフロアブル	16	デミリン水和剤	84
アトラック液剤	17	テルスター水和剤	85
ウララ50DF	19	テルスターフロアブル	86
エコワンフロアブル	20	デルフィン顆粒水和剤	87
エコワン3フロアブル	21	トアロー水和剤CT	88
エスマルクDF	22	トアローフロアブルCT	89
エスペランサ	23	トクチオン細粒剤F	90
エンセダン乳剤	24	トクチオン乳剤	91
エンバーMC	25	トレボン乳剤	92
オリオン水和剤40	26	トレボンEW	94
オルトラン水和剤	27	トレボンMC	95
オルトラン粒剤	29	ナイスイーグルSC	96
オンコル粒剤5	30	ニトルアー（アメシロ）	97
ガードホープ液剤	31	ネマトリンエース粒剤	98
ガードワン水和剤	32	ネマバスター	99
ガゼット粒剤	33	ノーモルト乳剤	101
カルホス乳剤	34	バイオセーフ	102
グリーンカルホス乳剤	36	バイオトピア	104
グリーンガード	37	バイジット乳剤	105
グリーンガード・エイト	38	バシレックス水和剤	106
グリーンガード・NEO	39	バスアミド微粒剤	107
コテツフロアブル	40	バロックフロアブル	109
サイハロン水和剤	42	パンチショットフロアブル	110
サニーフィールド乳剤	43	ビートルコップ顆粒水和剤	111
サニーフィールドMC	44	ピラニカEW	112
ジェイエース水溶剤	45	フルスウィング	113
ジェイエース粒剤	47	マツガード	114
シバマル	48	マツグリーン液剤	116
シバラックMC	49	マツグリーン液剤2	117
ショットイン乳剤	50	マッケンジー	119
ショットガン	51	マトリックフロアブル	120
ショットワン・ツウ液剤	52	マブリック水和剤20	122
スカウト乳剤	54	メガトップ液剤	123
スカウトフロアブル	55	モスピラン液剤	125
スタークル顆粒水溶剤	57	モスピラン顆粒水溶剤	126
スタークル粒剤	58	モスピラン水溶剤	127
スティンガーフロアブル	59	モスピラン粒剤	128
スピネアタック	60	モリエートマイクロカプセル	129
スブラサイド乳剤40	61	モリエートSC	130
スプレーオイル	63	ランダイヤ粒剤	131
スミソン乳剤	64	リラークDF	132
スミチオン乳剤	65	ルーバン水和剤	133
スミトップM粉剤	67	ルーバン粒剤	134
スミパイン乳剤	68	ロムダンフロアブル	135
スミパインMC	70	T-7.5バイサン乳剤	136
スミフェート粒剤	71	T-7.5バイセフト乳剤50	138
ゼンターリ顆粒水和剤	72		
ダイアジノン水和剤34	73		
ダイアジノン乳剤40	74		

クロラントラニプロール水和剤 アセルプリン

成分：クロラントラニプロール……18.4%
性状：類白色水和性粘稠懸濁液体

毒性：普通物 LD₅₀ ラット（経口）>5,000mg/kg ラット（経皮）>5,000mg/kg
魚毒性：LC₅₀ ブルーギルサンフィッシュ 96h >9.9mg/ℓ
EC₅₀ オオミジンコ 48h 0.035mg/ℓ ErC₅₀ 緑藻 72h >20mg/ℓ

品目特性

- 残効性が長い。
- 低薬量・低濃度で殺虫効果がある。
- 殺孵化幼虫効果が高い。
- 新しい作用機作で抵抗性回避出来る。

使用上のポイント

- 使用前によく振ってから使用する。
- 過度の連用をさけ、可能なかぎり作用性の異なる薬剤やその他の防除手段を組み合わせ使用とする。

適用と使用法

作物名	適用病害虫名	使用量		使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロラントラニプロールを含む農薬の総使用回数
		薬量	希釈水量				
芝	スジキリヨトウ	20ml/10a	200 ℓ/10a	発生前～発生初期	2回以内	散布	2回以内
		30ml/10a	50～300 ℓ/10a				
	シバツタガタマナヤガ	50ml/10a	500 ℓ/10a				
		100ml/10a	200～1000 ℓ/10a				

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロラントラニプロールを含む農薬の総使用回数
樹木類	ケムシ類	10000～20000倍	200～700 ℓ/10a	発生前～発生初期	2回以内	散布	2回以内

薬効・薬害等の注意

- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にかからないようにする。
- 石灰硫黄合剤、ボルドー液等アルカリ性薬剤との混用はさける。

安全対策上の注意

- 公園等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係ない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意する。



【取扱メーカー】 シンジェンタ23278

【原体メーカー】 シンジェンタ

【包装形態】 250ml×2

殺菌剤 成分名 商品名 索引

(成分名)	(商品名)
アジキシストロビン	シバンバフロアブル、シバンバEXフロアブル、ダイブフロアブル、ヘリテージ顆粒水和剤
アミスブルム	ベスグリーン
アメトクラジン	サンプロターフ
イソプロチオラン	グラステン水和剤・粒剤
イブロジオン	インターフェイスフロアブル、パッチバスター、ブルーデンス水和剤、ユキスター水和剤、ロブドー水和剤、ロブラル水和剤
イミノクタジンアルベシル酸塩	ボディーブロー水和剤
イミノクタジン酢酸塩	カシマン液剤、パッチバスター、モノクタジンフロアブル
イミベンコナゾール	ツインサイドDF、マネー ジ乳剤
エクロメゾール	サンヤード
オキシテトラサイクリン	アグリマイシン-100
オキシボコナゾールフマル酸塩	ベンコシャイン水和剤
キャプタン	オーソサイド水和剤80、キャブレート水和剤、グリーンオキシラン水和剤
クレソキシムメチル	ターフトップDF
ジアゾファミド	グリーンワークWP
ジエトフェンカルブ	ゲッター水和剤
ジフェノコナゾール	ダイブフロアブル
シフルフェナミド	バンチョTF顆粒水和剤
シブコナゾール	シバンバフロアブル、センチネル顆粒水和剤
シメコナゾール	パッチコロソ水和剤
ジラム	モノドクター水和剤
ストレプトマイシン	アグリマイシン-100
チウラム	ダコグリーン顆粒水和剤、チュウラミン水和剤、ティービック水和剤、ベンレートT水和剤20
チオファネートメチル	グラコーン水和剤、トップグラスドライフロアブル、トップジンM水和剤・ペースト、トップティ水和剤、トップバスター顆粒水和剤、ワンオン水和剤、ゲッター水和剤、スミトップM粉剤
チフルザミド	イカルガ35SC
テトラコナゾール	ボンジョルノ乳剤
テブコナゾール	クルセイダーフロアブル、タフシーバフロアブル、ユキスター水和剤、テディケートフロアブル、ミラージュフロアブル
トリフルミゾール	トップティ水和剤、トリフミン水和剤、バンチョTF顆粒水和剤
トリフロキシストロビン	インターフェイスフロアブル、エーツージー、テディケートフロアブル
トリホリン	サブロール乳剤
トルクロホスメチル	グランサー水和剤、グリーンエイト顆粒水和剤
バリダマイシン	トルファン、バリダシン液剤5、ワンオン水和剤
ヒドロキシイソキサゾール	タチガレン液剤、ミツクレート水和剤、サンブレイク液剤
ビリベンカルブ	ファンターフ顆粒水和剤
フェリムゾン	トルファン
フラメントビル	エーツージー
フルキサピロキサイド	セルカディスフロアブル
フルジオキシニル	メダリオン水和剤
フルトラニル	グラステン水和剤・粒剤、グラボストフロアブル、トライアンフ水和剤
プロシミドン	ダラーキック
プロバモカルブ塩酸塩	ブレビクールN液剤、ターフシャワー
プロビコナゾール	トライアンフ水和剤、バシパッチ水和剤、バナーマックス液剤、ミツクレート水和剤
プロビネブ	プロテクメートWDG
ベンフルフェン	オブティンフロアブル
ヘキサコナゾール	シバンバEXフロアブル
ベノミル	キャブレート水和剤、シャルマット水和剤、ベンレート水和剤・T水和剤20、緑化用ベンレート水和剤
ベンシクロン	セレンターフ顆粒水和剤、タフシーバフロアブル、ティービック水和剤
ベンチオピラド	ガイア顆粒水和剤、ユニゾン水和剤
ボスカリド	エメラルドDG
ホセチル	グラコーン水和剤、グリーンビセットDF、ブルーデンス水和剤
ポリオキシシD亜鉛塩	グリーンエイト顆粒水和剤、グリーンワークWP、ボディーブロー水和剤、ポリオキシシZ水和剤、ポリオキシシZドライフロアブル
マンゼブ	ベンコシャイン水和剤、ユニゾン水和剤
ミクロブタニル	ラリー水和剤
メタラキシル	サブデューマックス液剤
メトコナゾール	芝美人フロアブル、トップバスター顆粒水和剤
メバニピリム	フルビカフロアブル
メブロニル	シャルマット水和剤、バシパッチ水和剤、モノクタジンフロアブル
有機銅	オキシンドー水和剤80、キノンド水和剤80、キノンド一粒剤、グリーンオキシラン水和剤、ドウグリン水和剤、有機銅水和剤80、ロブドー水和剤、グリーンドクター II
硫黄	イオウフロアブル、クムラス
DBEDC	サンヨール
TPN	ダコグリーン顆粒水和剤、ダコニールターフ、パスポートフロアブル

(注) ・本表では剤型名を省略している。・混合剤は含有する成分にそれぞれ記載している。

殺菌剤目次

アグリマイシン-100	143	デディケートフロアブル	200
アンビルフロアブル	144	ドウグリン水和剤	201
イオウフロアブル	145	トップグラスドライフロアブル	202
イカルガ35SC	146	トップジンM水和剤	203
インターフェースフロアブル	147	トップジンMペースト	205
エーツージー	148	トップティ水和剤	206
エメラルドDG	149	トップバスター顆粒水和剤	207
オーソサイド水和剤80	150	トリアンフ水和剤	208
オキシンドー水和剤80	152	トリフミン水和剤	209
オブティンフロアブル	153	トルファン	210
ガイア顆粒水和剤	154	バシパッチ水和剤	211
カシマン液剤	156	パスポートフロアブル	212
キノンドー水和剤80	157	パッチコロシ水和剤	213
キノンドー粒剤	158	パッチバスター	214
キャプレート水和剤	159	バナーマックス液剤	215
クムラス	160	バリダシン液剤5	217
グラコン水和剤	161	パンチョTF顆粒水和剤	218
グラステン水和剤	162	ファンターフ顆粒水和剤	219
グラステン粒剤	164	ブルーデンス水和剤	220
グラボストフロアブル	165	フルピカフロアブル	221
グランサー水和剤	166	ブレビクールN液剤	222
グリーンエイト顆粒水和剤	167	プロテクメートWDG	223
グリーンドクターⅡ	168	ベスグリーンDF	224
グリーンビセットDF	169	ヘリテージ顆粒水和剤	225
グリーンワークWP	170	ベンコシャイン水和剤	226
グリーンオキシラン水和剤	171	ベンレート水和剤	227
クルセイダーフロアブル	172	ベンレートT水和剤20	228
ゲッター水和剤	173	ボディーブロー水和剤	229
サブデューマックス液剤	174	ポリオキシシンZ水和剤	230
サブロー乳剤	175	ポリオキシシンZドライフロアブル	231
サンブレイク液剤	176	ボンジョルノ乳剤	232
ザンプロターフ	177	マネージ乳剤	233
サンヨール	178	ミックレート水和剤	235
シグネチャーWDG	180	ミラージュフロアブル	236
芝美人フロアブル	181	メダリオン水和剤	237
シバンバフロアブル	182	モノクタジンフロアブル	238
シバンバEXフロアブル	183	モノドクター水和剤	240
シャルマット水和剤	185	有機銅水和剤80	241
セルカディスフロアブル	187	ユキスター水和剤	242
セレンターフ顆粒水和剤	188	ユニゾン水和剤	243
センチネル顆粒水和剤	189	ラリー水和剤	244
ターフシャワー	190	ラリー乳剤	245
ターフトップDF	191	ランマンPフロアブル	246
ダイブフロアブル	192	リゾトップ	247
ダコグリーン顆粒水和剤	194	リゾレックス水和剤	248
ダコニールターフ	195	緑化用ベンレート水和剤	249
タチガレン液剤	196	ロブドー水和剤	250
タフシーバフロアブル	197	ロブラール水和剤	251
ダラーキック	198	ワンオン水和剤	252
ツインサイドDF	199		

イプロジオン・トリフロキシストロピン水和剤 インターフェイスフロアブル

成分：イプロジオン……………23.1%
トリフロキシストロピン ……1.4%
性状：青緑色水和性粘稠懸濁液体

毒性：普通物 LD₅₀ ラット（経口）♂♀>5,000mg/kg ラット（経皮）♂♀>2,000mg/kg
魚毒性：LC₅₀ ニジマス 96h 1.47mg/ℓ EC₅₀ オオミジンコ 48h 0.6mg/ℓ
ErC₅₀ 藻類 0-72h 5.32mg/ℓ

品目特性

- ダラースポット病に高い効果がある。
- 作用性の異なる2成分を含有し、耐性菌対策のローテーション散布に最適である。
- ストレスガード製剤技術を採用し、シグネチャーWDGやミラージュフロアブルなどと併せてプログラム散布することで、夏場のグリーンを守る。
- 芝に対する安全性が高く、使用しやすいフロアブル製剤である。

使用上のポイント

- 貯蔵中に分離することがあるので、使用に際しては容器をよく振る。

適用と使用法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イプロジオンを含む農薬の総使用回数	トリフロキシストロピンを含む農薬の総使用回数
西洋芝 （ベントグラス）	ダラースポット病 炭疽病	100倍	0.1 ℓ/m ²	発病前～ 発病初期	6回以内	散布	8回以内	6回以内
		250倍	0.5 ℓ/m ²					

薬効・薬害等の注意

- いちご、なしに対して薬害が生じるおそれがあるので、付近にある場合はかからないように注意する。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にかからないようにする。

安全対策上の注意

- 眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- 皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意する。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とす。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。



【取扱メーカー】 バイエルC23359
【原体メーカー】 バイエルC、FMC
【包装形態】 1ℓ×12

除草剤 成分名 商品名 索引

(成分名)	(商品名)
アイオキシニル	アクチノール乳剤
アシュラム	アシュラスター液剤、グリーンアーザラン液剤
アトラジン	アルテミストフロアブル
アラクロール	ハブーン乳剤
イソウロン	イソキシル水和剤50・粒剤40、ロードキーパー粒剤、ワイドウェイ粒剤
イソキサベン	ターザイン水和剤・プロDF、バナフィンプロDF
イマザキン	オフⅡフロアブル
イマザビル	アーセナル、ケイビンエース、ゼログラス液剤、リプロ液剤
イマゾスルフロン	クサブロック、グラトップDF、ロンセイパー
インダジフラム	スペクトルフロアブル
エテホン	プロキシ液剤
エトキススルフロン	グラッチェ顆粒水和剤
エトベンザニド	アビシエムフロアブル
塩素酸ナトリウム	クサトルFP水溶剤・粉剤・粒剤、クロレートS・SL、デゾレートA・AZ粉剤・AZ粒剤
エンドタールニナトリウム塩	エンドタール液剤
オキサジアルギル	フェナックスフロアブル、サブライズフロアブル
オキサジクロメホン	フルハウスフロアブル(ロングパワーフロアブル)、サブライズフロアブル、ウィーデンWDG
オキシボコナゾールフマル酸塩	ベンコシヤイン水和剤
オリザリン	ウィードロック
カフェンストロール	ウェーブル顆粒水和剤、ハイメドウフロアブル、ラボストフロアブル
カルフェントラゾンエチル	タスクDF、タスク39DF
カルブチレート	シタガリンD、ツインカム・フロアブル、バックアップフロアブル・粒剤
クミルロン	マックワンフロアブル
グリホサートイソプロピルアミン塩	グリホス、サブゾーン、サンダーボルト007、リプロ液剤、クサクリーン液剤
グリホサートカリウム塩	タッチダウンiQ、ラウンドアップマックスロード、ダブルクランチ液剤
グリホサートナトリウム塩	フレビオン液剤
グルホシネート	グラントボーイWDG、ゼログラス液剤、ツバサ顆粒水和剤、バスタ液剤
クロリムロンエチル	アトラクティブ
クロルフタリウム	ダイヤモンド水和剤
シアナジン	フェアウエル粒剤、ワイドウェイEX粒剤
シクロスルフアロン	ダブルアップDG
ジクワット	ブリグロックスL、レグロックス
ジチオビル	ディクトラン乳剤、バイザー水和剤
セトキシジム	ナブ乳剤
ターバシル	ゾーバー、ノンウィード粒剤、グラスジャックS粒剤
テトラビオン	ザイトロンフレノック微粒剤、ノンウィード粒剤、フレノック液剤30・粒剤10、フレビオン液剤、ロードキーパー粒剤
テブチウロン	ノンウィード粒剤、ハービアウト水和剤・粒剤、ハービック水和剤・粒剤、レールウェイ粒剤
トリアジフラム	イデトップフロアブル、セットアップDF
トリクロピルトリエチアンモニウム	ザイトロンアミン液剤
トリクロピルブトキシエチル	ザイトロン微粒剤・フレノック微粒剤
トリフルラリン	トレファノサイド乳剤・粒剤2.5
トリフロキシスルフロンナトリウム塩	モニュメント顆粒水和剤、モニュメントフロアブル
ナプロバミド	クサレス顆粒水和剤
バラコート	ブリグロックスL
ハロスルフロンメチル	インプールDF、グラトップDF、セットアップDF
ピロキサスルホン	スバーダ顆粒水和剤、ソリスト顆粒水和剤
ピラゾスルフロンエチル	アグリーン顆粒水和剤
ピラフルフェンエチル	サンダーボルト007、芝用エコバートFL
ビリブチカルブ	エイゲン水和剤・粒剤
ブタミホス	タフラー水和剤・乳剤80
フラザスルフロン	シバゲン水和剤、シバゲンDF、ツバサ顆粒水和剤
フルアジホップ	ワンサイドP乳剤
フルセトスルフロン	ブロードケア顆粒水和剤
フルボキサム	コンクルード顆粒水和剤
フルミオキサジン	グラントボーイWDG
プロジアミン	クサブロック、グラトップDF
プロマシル	ハイパーX・粒剤、ボロシル
フロラスラム	ターザインプロDF、ブロードスマッシュSC
ベスロジン	バナフィン顆粒水和剤・プロDF・粒剤2.5
ベンジルアミノプリン	ドラード液剤

(成分名)	(商品名)
ベンタジン (ナトリウム塩)	バサグランターフ
ベンディメタリン	ウェイアップアクアキャップ、ウェイアップフロアブル、オフⅡフロアブル、グリーンケアG顆粒水和剤
ベンフレセート	フルスロット顆粒水和剤
メコプロップPカリウム塩	一本締液剤、スコリテック液剤
メントリオン	アルテミストフロアブル
メトリブジン	センコル水和剤、ラーチ粒剤
メトロスルフロンメチル	サーベルDF
ヨードスルフロンメチルナトリウム塩	デスティニーWDG、ウィーデンWDG
リムスルフロン	ハーレイDF
レナシル	ウェーブル顆粒水和剤、レナバック水和剤、レンザー
2,4PA	クサブランカー水和剤、トリメックF液剤、2,4-Dアミン塩、2,4Dソーダ塩
ACN	キレダー
CAT	シマジンフロアブル
DBN	カソロン粒剤・2.5、カベレン粒剤2.5、グラスジャックS粒剤、シタガリンD、フェアウエル粒剤、ラーチ粒剤
DCBN	グラスダン水和剤、ベンボール粒剤、ワイドウェイEX粒剤、レールウェイ粒剤
DCMU	カーメックスD、クサブランカー水和剤、ゾーバー、ダイロン・ゾル・微粒剤、ハービアウト水和剤・粒剤、ボミカルDM水和剤、ワイドウェイEX粒剤
DPA	クサブランカー水和剤、ハービアウト水和剤・粒剤、ボミカルDM水和剤
IPC	クロロIPC
S-メトラクロール	シバッチ乳剤
MCPイソプロピルアミン塩	サブゾーン、プラスコンM液剤
MCPAナトリウム塩	ボミカルDM水和剤、MCPソーダ塩
MCPJPジメチルアミン塩	トリメックF液剤、MCPJP液剤
MDBA	アシュラスター液剤、ツインカム・フロアブル、トリメックF液剤、バンベルーD液剤、ダブルクラッチ液剤
PAC	レナバック水和剤

(注) ・本表では剤型名を省略している。・混合剤は含有する成分にそれぞれ記載している。

除草剤目次

アーセナル	257	サーベルDF	314
アシュラスター液剤	259	ザイトロンアミン液剤	315
アクチノール乳剤	260	ザイトロン微粒剤	317
アグリーン顆粒水和剤	261	ザイトロンフレノック微粒剤	318
アトラクティブ	262	ザクサ液剤	319
アビシエムフロアブル	263	サブゾーン	321
アルテミストフロアブル	264	サプライズフロアブル	322
イソキシール水和剤50	265	サンダーボルト007	323
イソキシール粒剤4.0	266	シタガリンD	324
一本締液剤	267	シバゲンDF	325
イデトップフロアブル	268	シバッチ乳剤	327
インブルDF	269	芝用エコパートFC	328
ウィーデンWDG	270	シマジンフロアブル	329
ウィードコロシ粒剤	271	シャルウィードPro顆粒水和剤	330
ウィードロック	272	スコリテック液剤	331
ウィンターパワー	273	スパード顆粒水和剤	332
ウェイアップフロアブル	274	スペクトルフロアブル	333
ウェブル顆粒水和剤	275	セットアップDF	334
エイゲン水和剤	276	ゼログラス液剤	335
エスプラネードフロアブル	278	センコル水和剤	336
エンドタール液剤	279	ゾーバー	337
オフⅡフロアブル	280	ソリスト顆粒水和剤	338
カーブSC	281	ターザインプロDF	339
カーメックスD	282	ダイヤモンド水和剤	340
カソロン粒剤	283	ダイロン	341
カペレン粒剤2.5	285	ダイロンゾル	342
キレダー	287	ダイロン微粒剤	343
クサクリーン液剤	288	タスク39DF	344
クサッコM粒剤	290	タッチダウンiQ	345
クサトールFP水溶剤	291	タフラー乳剤80	347
クサトールFP粒剤	292	ダブルアップDG	348
クサブロック	293	ダブルインパクト	349
クサレス顆粒水和剤	295	ダブルクラッチ液剤	350
グラスジャックS粒剤	296	ツインカム	351
グラスダン水和剤	297	ツインカムフロアブル	352
グラッチェ顆粒水和剤	299	ツバサ顆粒水和剤	353
グラトップDF	300	ディクトラン乳剤	355
グラメックス水和剤	301	デスティニーWDG	357
グリーンケアG顆粒水和剤	302	デゾレートA	358
グリーンアーザラン液剤	304	デゾレートAZ粉剤	359
グリホス	306	デゾレートAZ粒剤	360
クロレートS	308	トリビュートOD	361
クロレートSL	310	トリメックF液剤	362
クロロIPC	311	トレファノサイド乳剤	363
ケイピンエース	312	トレファノサイド粒剤2.5	365
コンクルード顆粒水和剤	313	ナブ乳剤	366

ノンウィード粒剤	368	ワイドウェイEX粒剤	424
ハービック水和剤	369	ワンサイドP乳剤	425
ハービック粒剤	370	2,4-Dアミン塩	427
ハーレイDF	371	2,4-Dソーダ塩	429
バイザー水和剤	372	MCPソーダ塩	431
ハイバーX	373	MCP液剤	433
ハイバーX粒剤	374		
バサグランターフ	375		
バスタ液剤	376		
バックアップフロアブル	378		
バックアップ粒剤	379		
バナフィン顆粒水和剤	381		
バナフィン粒剤2.5	382		
ハブーン乳剤	383		
バリケードフロアブル	384		
パワーボンバー	385		
バンベルーD液剤	386		
ピラメイトフロアブル	387		
フェアウエル粒剤	388		
フェナックスフロアブル	390		
ブラスコンM液剤	391		
プリグロックスL	393		
フルスロット顆粒水和剤	395		
フルハウスフロアブル	396		
フレノック液剤30	397		
フレノック粒剤10	398		
フレピオン液剤	399		
プロキシ液剤	400		
プロサルト液剤	401		
ブロードケア顆粒水和剤	403		
ブロードスマッシュSC	404		
ボロシル	405		
マックワンフロアブル	406		
モニュメント顆粒水和剤	407		
モニュメントフロアブル	409		
ユニホップ	411		
ラウンドアップマックスロード	412		
ラポストフロアブル	415		
リブート粒剤	416		
リプロ液剤	417		
レールウェイ粒剤	418		
レグロックス	419		
レナパック水和剤	420		
レンザー	421		
ロードキーパー粒剤	422		
ロンセイバー	423		

ペンディメタリン水和剤 ウェイアップフロアブル

成分：ペンディメタリン……………45.0%
性状：黄緑色水和性粘稠懸濁液体

毒性：普通物 LD₅₀ マウス >5,000mg/kg
魚毒性：LC₅₀ コイ 96h 1,000mg/ℓ、オオミジンコ 48h 0.7mg/ℓ

品目特性

- 雑草発生前に土壤処理により幅広い草種（一年生雑草）に効果がある。
- 土壤粒子に強く吸着し、降雨による流亡も少ないため、一般に120日以上長い残効性がある。
- 環境に左右されない安定した効果を発揮する。
- ターフ形成後のコウライ芝に対して、薬害がなく、人畜に対しても安全である。
- フロアブルなので、強い風に舞い上がったり、靴、衣類に付着することがない。

使用上のポイント

- 雑草の発生前に散布する。
- 乾燥時、あるいはサッチ量が多い時は、散布水量を多めにする。
- 春期は使用量を多めにする。

適用と使用法

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	ペンディメタリンを含む農業の総使用回数
				薬量	希釈水量			
西洋芝 (パーミューダグラス) 日本芝	—		芝生生育期 (雑草発生前)				全面土壤 散布	
樹木等	鉄道 公園 庭園 堤とう 駐車場 道路 運動場 宅地 のり面等	畑地一年生 雑草 (キク科を除く)	雑草発生前	400～900 g/10a	200～300 ℓ/10a	3回以内	植栽地を除く樹木等の周辺地に全面土壤散布	3回以内

薬効・薬害等の注意

- 張芝直後には使用しない。又、グリーンには使用しない。
- 雑草発生前～発芽時に有効であるが、雑草の生育が進むと急激に効果が低下するので、使用時期を誤らないように散布する。
- キク科雑草とツククサには効果が劣るので、これらの雑草の優占圃場では使用しない。
- 土壤が乾燥している場合には効果が劣ることがあるので、希釈水量を多めに散布する。
- 激しい降雨が予想される時には使用をさける。

安全対策上の注意

- 水源池、養魚池等に飛散、流入しないように十分注意する。
- 眼に入らないように注意する。万一眼に入った場合には直ちに水洗し医師の手当を受ける。(刺激性)
- 皮膚に付着しないよう注意する。万一付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とす。(弱い刺激性)



【取扱メーカー】 BASF 【原体メーカー】 BASF16959 【包装形態】 1ℓ×10

植物成長調整剤 成分名 商品名 索引

(成分名)	(商品名)
インドール酪酸	オキシベロン液剤
クロレラ抽出物	グリーンエージ
混合生薬抽出物	アルムグリーン
トリネキサバックエチル	ブリモマックス液剤
ナフチルアセトアミド	ルートン
バクロブトラゾール	バウンティフロアブル
ビスピリバックナトリウム塩	ショートキープ液剤
フルルブリミドール	グリーンフィールド水和剤・粒剤
プロヘキサジオンカルシウム塩	ビオロックフロアブル

(注) ・本表では剤型名を省略している。・混合剤は含有する成分にそれぞれ記載している。

植物成長調整剤目次

アルムグリーン	436	ドラード液剤	447
オキシベロン液剤	437	ナインG乳剤	448
グリーンエージ	439	バウンティフロアブル	449
グリーンフィールド水和剤	440	ビオロックフロアブル	451
グリーンフィールド粒剤	442	ブリモマックス液剤	453
ショートキープ液剤	444	ルートン	456

ベンジルアミノプリン ドランド液剤

成分：ベンジルアミノプリン ……………2.0%
性状：淡黄色澄明水溶性液体

毒性：普通物 LD₅₀ マウス（経口） 2,125mg/kg マウス（経皮） >5,000mg/kg以上
魚毒性：LC₅₀ コイ 96h 335mg/ℓ ErC₅₀ 藻類成長阻害試験 24-72h 760mg/ℓ
EC₅₀ オオミジンコ 48h 864mg/ℓ

品目特性

- サイトカイニン活性を示す合成植物ホルモンで、スズメノカタビラの出穂を抑制する。
- エテホン（21.5%）液剤と混用処理することで高い出穂抑制を示す。

使用上のポイント

- 他農薬、資材との混用はさける。（ただしエテホン液剤加用の場合を除く。）
- スズメノカタビラ出穂前～出穂初期に有効である。
- 連続して使用する場合は、3週間程度散布間隔をあける。
- 散布後3時間以内の降雨は効果を減ずることがあるので、天候を見極めてから散布する。
- 散布後に芝が黄変することがあるが、一過性のため次第に回復し、その後生育に影響は認められない。

適用と使用法

作物名	使用目的	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	ベンジルアミノプリンを含む農薬の総使用回数
			薬量	希釈水量			
西洋芝 （ベントグラス）	スズメノカタビラの出穂抑制	春夏期 スズメノカタビラ出穂前～出穂初期 （芝生育期）	0.6～1.2 ml/m ²	100～200 ml/10a	3回以内	雑草茎葉散布	3回以内
			0.3～0.6 ml/m ²			エテホン21.5%液剤を1m ² あたり1.0ml加用のうえ雑草茎葉散布する	

薬効・薬害等の注意

- ターフ形成前の芝には薬害を生じるおそれがあるので、ターフ形成後の芝生に使用する。
- 芝生が過度なストレスを受けた条件では薬害が生じるおそれがあるので使用をさける。
- 散布後に芝が黄変することがあるが、症状は一過性であり次第に回復し、その後の生育に対して影響は認められない。

安全対策上の注意

- 眼に入らないように注意。眼に入った場合には直ちに水洗いし、眼科医の手当を受ける。（刺激性）
- 危険物第4類第3石油類に属するので火気に注意する。



【取扱メーカー】 理研G23120
【原体メーカー】 クミ化
【包装形態】 1ℓ×3

家庭用園芸剤 成分名 商品名 索引

(成分名)	(商品名)
アセフェート	オルトラン液剤・カプセルC
イソウロン	クサハンター粒剤
イミダクロプリド	アースガーデンC、アブラムシムシAL、ムシムシ液剤AL
エトフェンブロックス	ベニカエース液剤、ベニカDスプレー
カルブチレート	GF草退治Z粒剤、ネコソギパワー
グリホサートイソプロピルアミン塩	ネコソギクイックプロFL、ネコソギガーデンシャワー、ネコソギWクイック、ネコソギクイックプロシャワー、ネコソギAL1.0
クロチアニジン	アースカマイラズ、ベニカケムシエアゾール、ベニカJスプレー、ベニカXファインスプレー
シアナジン	シバキープⅡ粒剤、シバニードグリーン微粒剤、シバニードアップ粒剤、ベニカXファインエアダール、ネコソギエースX粒剤、GF草退治粒剤、GF草退治Z粒剤
シフルトリン	アースガーデンW
テトラコナゾール	ダブルプレーAL
ターバシル	ネコソギワイド粒剤
トリアジフラム	シバキーププラス a
トリホリン	オルトランC
ピアラホス	クサキールAL
ピテルタノール	アースガーデンW
ビフェントリン	アタックワンAL
ピラフルフェンエチル	ネコソギクイックプロFL、ネコソギクイックプロシャワー
フェンプロバトリン	ダブルプレーAL、ベニカグリーンVスプレー、ベニカケムシエアゾール、ベニカJスプレー、ベニカXファインスプレー、ベニカファインエアゾール
ブプロフェジン	ベニカDX
フルセトスルフロン	シバキープPro顆粒水和剤
フルミオキサジン	ネコソギWクイック
フルプリミドール	のびない君
プロマシル	アースカマイラズ、ウィードコロシ粉剤、こっばみじん、こっばみじんW、ネコソギトップ粒剤、ネコソギトップDX、ネコソギトップRX、ネコソギパワー
ベルメトリン	ガーデンアースB、スミナイス乳剤、ベニカDX、ベニカS乳剤、ベニカXスプレー、ベニカX乳剤
ポリブテン	カミキリホイホイ
マシン油	エアータック乳剤
ミクロブタニル	アタックワンAL、マイローズ殺菌スプレー、ベニカグリーンVスプレー、ベニカDX、ベニカXスプレー、ベニカX乳剤
メコプロップカリウム塩	アースカマイラズ、シバキープⅡ粒剤
メバニピリム	ベニカXファインスプレー、ベニカXファインエアゾール
燐酸第二鉄	ナメクジ退治
有機溶剤	アースガーデンQ、ガーデンアースB
PBEDC	サンヨール液剤AL
DBN	クサタウンV粒剤、シバキーププラス a、シバニードアップ粒剤、シバニードグリーン微粒剤、ネコソギエースX粒剤、ネコソギワイド粒剤、GF草退治Z粒剤
DCBN	GF草退治粒剤
DCMU	GF草退治粒剤、ネコソギトップRX
MCP	クサハンター粒剤、シバキープAL、ネコソギトップDX、ネコソギトップRX、ネコソギパワー、こっばみじんW
MEP	オルトランC・S、スミナイス乳剤

(注) ・本表では剤型名を省略している。・混合剤は含有する成分にそれぞれ記載している。

その他 成分名 商品名索引

(成分名)	(商品名)
ジラム	コニファー水和剤
イソプロチオラン	ツリーセーブ
チウラム	ヤシマレント

(注) ・本表では剤型名を省略している。・混合剤は含有する成分にそれぞれ記載している。

家庭用園芸剤目次

アースカマイラズ	459	ネコソギエースX粒剤	487
アースガーデンC	460	ネコソギガーデンシャワー	489
アースガーデンW	461	ネコソギクイックプロシャワー	490
アタックワンAL	462	ネコソギクイックプロFL	491
アブラムシムシAL	463	ネコソギトップ	493
エアータック乳剤	464	ネコソギトップDX	494
オルトラン液剤	465	ネコソギトップRX	495
オルトランカプセル	466	ネコソギパワー	496
オルトランC	468	ネコソギロングシャワー	497
カイガラムシエアゾール	470	ネコソギワイド粒剤	498
ガーデンアースB	471	ネコソギAL1.0	499
カミキリホイホイ	472	ネコソギWクイック	500
こっぱS	473	のびない君	501
こっぱみじん	474	ベニカグリーンVスプレー	502
こっぱみじんシャワー	475	ベニカケムシエアゾール	503
こっぱみじんW	476	ベニカマツケア	504
サンヨール液剤AL	477	ベニカDX	505
シバキープエースシャワー	478	ベニカJスプレー	506
シバキーププラス α	479	ベニカS乳剤	507
シバキープAL	480	ベニカXスプレー	508
シバキープPro顆粒水和剤	481	ベニカXファインエアゾール	509
シバキープⅡ粒剤	482	ベニカXファインスプレー	510
シバニードアップ粒剤	483	ベニカX乳剤	512
シバニードグリーン微粒剤	484	マイローズ殺菌スプレー	513
スターガード粒剤	485	GF草退治粒剤	514
ネコソギエースTX粒剤	486	GF草退治Z粒剤	515

その他目次

コニファー水和剤	516	ランテクター	519
ヤシマレント	517		

ビフェントリン・ミクロブタニル液剤 アタックワンAL

成分：ビフェントリン……………0.0030%
ミクロブタニル……………0.0080%
性状：淡黄色澄明水溶性液体

毒 性：普通物 LD₅₀ ラット（経口） ♂♀>5,000mg/kg ラット（経皮） ♂♀>2,000mg/kg
魚毒性：LC₅₀ コイ 96h 0.24mg/ℓ EC₅₀ オオミジンコ 48h 0.10mg/ℓ

品目特性

- 害虫と病気の両方に効果を発揮する。
- アブラムシ、ハダニ類、ケムシ類に効果がある。
- うどんこ病や黒星病にかかりにくくし、また病気の進行も防ぐ。

使用上のポイント

- 植物にやさしい水性処方で、いやなニオイが少ない。

適用と使用法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ビフェントリンを含む農薬の総使用回数	ミクロブタニルを含む農薬の総使用回数
ばら	アブラムシ類 ハダニ類 チュウレンジハバチ うどんこ病 黒星病	原液	発生又は 発病初期	—	散布	—	—
樹木類	ケムシ類						

その他登録適用作物

花き類・観葉植物（ばら、きくを除く）／きく

薬効・薬害等の注意

- 花卉にかからないように注意する。
- 強風時や日中高温時の使用はさける。
- 蚕に長期間毒性があるので、桑園がある場所では使用しない。またミツバチに対しても影響があるので注意して使用する。

安全対策上の注意

- 散布中、液ダレし、手にかかることがあるので散布後石けんでよく洗い落とす。
- 人に向かって噴霧しない。
- かぶれやすい人は取扱いに十分注意する。
- 風上から散布し、噴霧液を浴びないように注意する。
- 風向きに注意し、飲食物、自動車、家具等にかからないように注意する。
- ペットや水産動物を飼っている水槽等に向かって散布しない。
- 池、水槽等（水産動植物（甲殻類））に噴霧が入らないように注意。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払う。



【取扱メーカー】日農20854、エムシー緑、フマキラー

【原体メーカー】FMC、ダウ

【包装形態】1000ml×12 1000ml×15

芝害虫、病害及び雑草防除適用農薬一覧

(1) 殺虫剤 - 1

2014.12.30現在

商 品 名	有 効 成 分 名 (%)	安全性					適用害虫											
		人畜 毒性	魚 毒性	水 質 指 針 設 定	P R T R 対 象	本 剤 の 使 用 回 数	ス ジ キ リ ヨ ト ウ	シ バ ツ ト ガ	タ マ ナ ヤ ガ	シ バ オ サ ゾ ウ ム シ	コ ガ ネ ム シ 類	ケ ラ	ミ ミ ズ の 糞 塚 形 成 防 止	ア カ フ ツ ツ リ ガ	チ ガ ヤ シ ロ オ カ イ ガ ラ	ス ナ コ バ ネ ナ ガ カ メ ム シ	オ オ ハ サ ミ ム シ 脱 出 孔 形 成 防 止	
アストロ乳剤	BPMC(50.0)	劇	Bs	*	*	5							●					
アセルプリン	クロラントリニプロール(18.4)	普	A	*	*	2	●	●	●		幼							
エスペランサ	シアントラニプロール(18.7)	普		*	*	3	●	●			幼							
エンパーMC	ベルメリン(10.0)	普	(B)	*	*	3	●	●	●	成	幼							
オルトラン水和剤	アセフェート(50.0)	普	A	*	*	5	●	●	●	成		●		●				
オルトラン粒剤	アセフェート(5.0)	普	A	*	*	5	●	●	●									
ガードワン水和剤	テブフェンチド(40.0)	普	A	*	*	3	●	●	●									
ガゼット粒剤	カルホスルフアン(3.0)	劇	Bs		*	3				成	●	●	●				●	
カルホス乳剤	イソキサチオン(50.0)	劇	B	*	*	6	●	●	幼	●	●	●						
グリーンカルホス乳剤	イソキサチオン(50.0)	劇	B	*	*	6	●	●	幼	●	●	●						
グレモSC	ホキシフェンチド(20.0)	普	A	*	*	6	●	●										
サイハロン水和剤	シハロリン(5.0)	普	C			3	●	●										
サニーフィールド乳剤	エトフェンプロックス(30.0)	普	B	*	*	3	●	●	●	成	幼	●						
サニーフィールド粒剤	エトフェンプロックス(2.0)	普	B	*	*	4	●	●		成								
サニーフィールドMC	エトフェンプロックス(30.0)	普	B	*	*	3	●	●										
ジェイエース水溶剤	アセフェート(50.0)	普	A	*	*	5	●	●	●	成								
ジェイエース粒剤	アセフェート(5.0)	普	A	*	*	5	●	●	●									
シバマル	ピリダリル(10.0)	普	A	*	*	2	●	●	●									
シバラックMC	BPMC(10.0)、MEP(15.0)	普	B	*	*	3	●	●		幼	幼							
ショットイン乳剤	テフルベンズロン(10.0)	普	B		*	6	●	●		幼	幼							
ショットガン	ダイアジノン(40.0)	劇	Bs	*	*	4	●	●		成	幼							
スカウト乳剤	トラロメリン(1.6)	劇	C		*	5	●	●										
スカウトフロアブル	トラロメリン(1.4)	劇	C		*	5	●	●										
スティンガーフロアブル	フルベンジアミン(42.0)	普	A	*	*	2	●	●	●									
スピネアタック	スピネトラム(25.0)	普	B	*	*	2	●	●	●									
スミチオン乳剤	MEP(50.0)	普	B	*	*	6	●	●		●	幼							
スミフェート粒剤	アセフェート(5.0)	普	A	*	*	5	●	●	●									
ゼンターリ顆粒水和剤	BT(10.0)	普	A			6	●	●	●									
ダイアジノン乳剤40	ダイアジノン(40.0)	劇	Bs	*	*	4	●	●		●	幼							
ダイアジノン粒剤5	ダイアジノン(5.0)	劇	Bs	*	*	4	●	●		成	幼							

(注)魚毒性の表示(A, B, C)は、有効成分としてのランク表示である。ただし()で示したものは製剤での評価(注意事項)を基に示したものである。

(2) 殺菌剤－1

商 品 名	有 効 成 分 名 (%)	安全性				
		人畜 毒性	魚 毒性	水 質 指 針 設 定	P R T R 対 象	本 剤 の 使 用 回 数
アグリマイシン-100	オキシテトラサイクリン(1.5)、ストレプトマイシン硫酸塩(18.8)	普	A	*		－
イオウフロアブル	硫黄(52.0)	普	A			－
イカルガ35SC	チフルサミド(35.0)	普	A	*		2
インターフェイスフロアブル	イプロロキサゾン(23.1)、トリフロキシストロビン(1.4)	普	A	*		
エーツージー	フラトピル(30.0)、メコナゾール(20.0)	普	A	*		2
エメラルドDG	ホスカリド(70.0)	普	A	*		3
オーソサイド水和剤80	キャブタン(80.0)	普	C	*		8
オキシンドー水和剤80	有機銅(80.0)	普	C	*	*	3
オブテインフロアブル	ベンフルフェン(22.7)	普	C	*		2
ガイア顆粒水和剤	ベンチオヒラト(50.0)	普	B	*		8
カシマン液剤	イミノクタン酢酸塩(5.0)	普	A	*	*	8
キノンドー粒剤	有機銅(10.0)	普	C	*	*	5
キャブレート水和剤	キャブタン(60.0)、ベノミル(10.0)	普	C	*	*	6
クムラス	硫黄(79.2)	普	A			－
グラコーン水和剤	チオファネートメチル(20.0)、ホセチル(60.0)	普	A	*	*	8
グラステン水和剤	イソプロチオラン(20.0)、フルトラニル(25.0)	普	B	*	*	8
グラステン粒剤	イソプロチオラン(4.0)、フルトラニル(5.0)	普	B	*	*	4
グラポストフロアブル	フルトラニル(30.0)	普	B	*	*	4
グランサー水和剤	トルクロホスメチル(75.0)	普	A	*		5
グリーンエイト顆粒水和剤	トルクロホスメチル(50.0)、ホリオキシンド亜鉛塩(4.5)	普	A	*		5
グリーンドクターⅡ	水酸化第二銅(30.0)	普	C			－
グリーンビセットDF	ホセチル(77.0)	普	A	*		
グリーンワーク水和剤	シアゾファミド(20.0)、ホリオキシンド亜鉛塩(9.0)	普	A	*		
グリンオキシラン水和剤	キャブタン(20.0)、有機銅(30.0)	普	C	*	*	5
クルセイダーフロアブル	テブコナゾール(40.0)	普	B	*	*	6
サブデューマックス液剤	メタラキシルM(22.0)	普	A	*		4
サブロー乳剤	トリホリン(15.0)	普	A			6
サンブレイク液剤	ヒドロキシイソキサザール(16.5)	普	A	*		6
サンプロターフ	アト外トラジン(18.9)	普	A	*		3
サンヨール	DBEDC(20.0)	普	B			8
シグネチャーWDG	ホセチル(79.4)	普	A	*		8
芝美人フロアブル	メコナゾール(20.0)	普	A	*		6
シバンバフロアブル	アゾキシストロビン(18.2)、ジプロコナゾール(7.3)	普	A	*		4
シバンバEXフロアブル	アゾキシストロビン(9.2)、ヘキサコナゾール(5.7)	普	B	*	*	8
シャルマツ水和剤	ベノミル(15.0)、メブニル(60.0)	普	B	*	*	4
セルカディスフロアブル	フルキサビロキサド(26.5)	普	A	*		4
セレンターフ顆粒水和剤	ベンシクロン(50.0)	普	B	*		6
センチネル顆粒水和剤	ジプロコナゾール(38.0)	普	A	*		4
ターフシャワー	プロパモカルブ塩酸塩(66.7)	普	A			8
ターフトップDF	クレソキシムメチル(40.0)	普	B	*	*	3
ダイブフロアブル	アゾキシストロビン(18.2)、ジフェノコナゾール(11.3)	普	B	*	*	7
ダコグリーン顆粒水和剤	チウラム(30.0)、TPN(50.0)	普	C	*	*	8
ダコニールターフ	TPN(53.0)	普	C	*	*	8
タチガレン液剤	ヒドロキシイソキサザール(30.0)	普	A	*		4
ダラーキック	プロシメドン(50.0)	普	A			2

注) 魚毒性の表示(A,B,C)は、主成分(原体)でのランク表示である。

パ:パミュダグラス ブ:ブルグラス ラ:ライグラス *全芝草

(3) 除草剤－1

商 品 名	有 効 成 分 名 (%)	安全性				
		人畜毒性	魚毒性	水質指針設定	P R T R 対象	本剤の使用回数
アグリーン顆粒水和剤	ピラゾスルフロンエチル(70.0)	普	A			3
アシュラスター液剤	アシュラム(30.0)、MDBAカリウム塩(3.3)	普	A			3
アトラクティブ	クロリムロメチル(25.0)	普	A			3
アビシエムフロアブル	エトベンザニド(30.0)	普	A			3
アルテミストフロアブル	アトラジン(43.9)、メソトリオン(4.4)	普	A			1
イデトップフロアブル	トリアジフラム(30.0)	普	B			2
一本締液剤	メコプロップPカリウム塩(52.0)	普	A	*		3
インプールDF	ハロスルフロンメチル(75.0)	普	A	*	*	3
ウインターパワー	フルミオキサジン(50.0)	普	A			2
ウィーデンWDG	オキサジクロメホン(30.0)、ヨードスルフロンメチルナトリウム塩(2.0)	普	A	*	*	2
ウェーブル顆粒水和剤	カフェンストール(45.0)、レシナル(25.0)	普	B	*	*	2
ウェイアップフロアブル	ベンディメタリン(45.0)	普	B	*	*	3
エイゲン水和剤	ピリブチカルブ(47.0)	普	B	*	*	3
エンドタール液剤	エンドタールナトリウム塩(1.85)	普	A		コウライ3	
オフⅡフロアブル	イマザキン(8.5)、ベンディメタリン(36.0)	普	B	*	*	1
カーブSC	プロピザミド(36.0)	普	A			2
カソロン粒剤(2.5)	DBN(2.5)	普	A		*	2
カペレン粒剤2.5	DBN(2.5)	普	A		*	2
キレダー	ACN(25.0)	普	Bs			3
クサブロック	プロジアミン(63.0)	普	A			2
クサレス顆粒水和剤	ナプロパミド(48.0)	普	A	*		3
グラスダン水和剤	DCBN(50.0)	普	A			1
グラスホップ	メタミホップ(10.0)	普	B			3
グラッチェ顆粒水和剤	エトキシスルフロン(60.0)	普	A	*		3
グラトップDF	ハロスルフロンメチル(12.0)、プロジアミン(40.0)	普	A	*	*	2
グラメックス水和剤	シアナジン(50.0)	普	A		*	2
クリアコンビWDG	エトキシスルフロン(12.5)、ヨードスルフロンメチルナトリウム塩(1.25)	普	A	*		2
グリーンアーザラン液剤	アシュラム(37.0)	普	A	*		3
グリーンケア顆粒水和剤	ベンディメタリン(53.0)	普	B	*	*	3
グリホス	グリホサートイソプロピルアミン塩(41.0)	普	A			3
クロロIPC	IPC(45.8)	普	A			2
コンクルード顆粒水和剤	フルボキサム(50.0)	普	B			2
サーベルDF	メスルフロンメチル(60.0)	普	A			1
ザイトロン微粒剤	トリクロピルブトキシエチル(3.0)	普	B	*	*	3
ザイトロアミン液剤	トリクロピルトリエチルアンモニウム(44.0)	普	A	*	*	3
サブライズフロアブル	オキサジアルキル(17.0)、オキサジクロメホン(15.0)	普	A	*	*	2
シバゲンDF	フラザスルフロン(25.0)	普	A	*		3
シバッチ乳剤	S-アトラクロール(83.7)	普	A		*	3
シパニードフロアブル	シアナジン(1.0)、DBN(0.5)	普	A			3
芝用エコパートFL	ピラフルフェンエチル(2.0)	普	A			3
シマジンフロアブル	CAT(42.0)	普	A	*	指 *	1
スコリテック液剤	メコプロップPカリウム塩(52.0)	普	A	*		3
スパーダ顆粒水和剤	ヒロキサスルホン(75.0)	普	A	*		3

注) 魚毒性の表示(A, B, C)は、主成分(原体)でのランク表示である。

適用芝草種								使用時期				有効雑草種					備考			
芝	日本芝	ベントグラス	ブルーグラス	フェスク	ライグラス	バミューダグラス	ティフトン	センチピートグラス	雑草発生前	雑草発生始・初期	雑草生育期	芝休眠期	1年生	イネ科雑草	広葉雑草	多年生	ハマスゲ・ヒメクグ	イネ科雑草	有効(無効)草種	
	●	●									○		●		●	●				
	●									○	○		●	●						メシバ
	●								○	○			●	●	●					メシバ
	●	●							○	○			●	●						ウラジロチチコグサ
	●								○				●	●					スズメノカタビラ3葉期まで	
	●	●	●								○		●	●						
	●	●	●	●						○	○		●	●	●		●			
	●										○	○	●	●	●				スズメノカタビラ	
	●								○				●	●	●					
	●								○	○			●	●					(マメ科)	
	●					●			○				●	●					(キク科)	
	●	●	●						○					●						
	●		●								○	◎							スズメノカタビラ	
	●									○	○		●	●						
	●								○				●	●					(キク科)	
	●								○	○			●	●	●					
	●								○	○			●	●	●	●				
	●	●									○								コケ類、藻類	
	●	●	●			●			○				●	●					(キク科)	
	●								○					●						
	●								○	○			●	●					スキナ	
	●	●											●	●	●	●			メシバ	
	●	●	●						○	○			●		●	●				
	●		●						○				●	●						
	●								○	○			●	●						
	●								○				●	●					(キク科)	
ラフ						●					○		●	●	●	●				
	●								○	○			●	●					スズメノカタビラ等冬生イネ科	
	●					●			○				●	●						
	●		ケ	●		ヘ	●			○			●		●					
	●									○	○		●		●					
	●										○		●		●				クローバー、チトメグサ	
	●								○				●	●						
	●					●		●	○	○			●	●	●	●			スズメノヒエ	
	●								○				●	●			●			
	●								○	○			●	●	●					
	●	●								○			●	●	●				コケ類	
	●						●		○				●	●						
	●		●								○		●		●				スキナ、チトメグサ	
	●					●			○					●					メシバ	

樹木及び樹木類等適用病害虫並びに雑草防除登録農薬一覧

使用にあたって

- 1 本資料の(1)殺虫剤、(2)殺菌剤、(3)殺虫殺菌剤、(4)植物調整剤、(5)その他(6)マツ枯れ編については、元(独)森林総合研究所上席研究官、樹木医の松浦邦昭氏に提供頂いたものです。
- 2 本資料にいう樹木農薬の樹木とは、13生産第3986号農林水産省生産局生産資材課長通知の別表「－農薬登録における適用作物名－」に従う以下の樹種「アカシア、あじさい、アッサムニオイザクラ、アフelandラ、あらかし、アラレア、アレカヤシ、いぬまき、うばめがし、うめもどき、エリカ、おうごんくじゃくひば、かくれみの、ガジュマル、かなめもち、カロライナジャスミン、かんのんちく、きづた、きんぼうじゅ、くちなし、クロサンドラ、クロトン、げっきつ、けやき、ケンチャヤシ、こうやまき、ゴールドクレスト、こでまり、コトネアスター、ゴムノキ、コルディリネ、コンロンカ、さかき、さくら、さるすべり、さんごじゅ、さんごみずき、さんざし、さんしゅゆ、さんたんか、シェフレラ、しきみ、ジャカラント、ジャスミン・ポリアンサ、しゃりんばい、しらかし、じんちょうげ、すぎ、せいよういわなんてん、せいようばくちのき、せんりょう、ちょうせんまき、つげ、テーブルヤシ、デュランタ、とっくりらん、とべら、ドラセナ、ななかまど、なんてん、にしきぎ、のうぜんかずら、のぼたん、ハイビスカス、はいびゃくしん、パキラ、はなみずき、ひいらぎなんてん、ひさかき、ひのき、ヒペリカム、ブーゲンビリア、ふっきそう、ブバルディア、ベンジャミン、ポインセチア、ホクシャ、ポリシャス、ポロニア、まさき、まんさく、マンデビラ、みずき、もくせい、もくれん、もっこく、やなぎ、やぶさんざし、ユーカリ、ゆきやなぎ、ユッカ、ランタナ、ルリマツリ、れんぎょう」及び、「つつじ類(アザレア、おおむらさき、くるめつつじ、さつき、しゃくなげ)、つばき類(さざんか、とうつばき、やぶつばき、ゆきつばき)」の他、現在、この表に含まれない樹木を含みます。「ばら」等の緑化木に用いられる樹木をいいます。しかし、くり等果樹類、林地での林業生産に供する造林木やハスカップ、さくら(葉)等農林作物生産に供する樹木は含めないこととした。

(1) 殺虫剤

対象樹種	病虫雑草名	種類名	商品名	希釈倍数	使用時期	使用量	使用回数	使用方法	登録メーカー名	登録番号	
あおき	カイガラムシ類	アレスリン・マシン油エアゾル	カダンK		夏期、冬期	霧が均一に付着するよう約50cmはなれた所から断続的に噴射する。			フマキラー	14069	
	ロウムシ類	アレスリン・マシン油エアゾル	カダンK		夏期、冬期	霧が均一に付着するよう約50cmはなれた所から断続的に噴射する。			フマキラー	14069	
あかまつ	立枯病	カーバム剤	NCS	原液3mL/1穴又は2倍液5mL/1穴	植付前	1回	耕起整地後30cm間隔の千鳥状に深さ約15cmの穴をあけて薬液を注入し、ビニール等で7～10日間被覆する。		ダウケミカル	6272	
			三洋NCS		植付前	1回			ダウケミカル	19233	
	マツカレハ	アセフェート剤	オルトランカブセル	幹周囲10cm毎に1個	発生期直前		2回以内	樹幹打ち込み	アリスト	19979	
			GFオルトランカブセル		発生期直前		2回以内		住友化学園芸	21791	
	ケムシ類	アセフェート剤	オルトランカブセル	幹周囲10cm毎に1個	発生期直前		2回以内	樹幹打ち込み	アリスト	19979	
			GFオルトランカブセル		発生期直前		2回以内		住友化学園芸	21791	
	あじさい	アブラムシ類	アセタミフリト液剤	マツグリーン液剤2	500倍	発生初期	200～700 $\frac{\text{mL}}{10\text{a}}$	5回以内	散布	日本曹達	20838
		カイガラムシ類	アセタミフリト液剤	マツグリーン液剤2	250倍	発生初期	200～700 $\frac{\text{mL}}{10\text{a}}$	5回以内	散布	日本曹達	20838
ケムシ類		アセタミフリト液剤	マツグリーン液剤2	250倍	発生初期	200～700 $\frac{\text{mL}}{10\text{a}}$	5回以内	散布	日本曹達	20838	
コガネムシ類		アセタミフリト液剤	マツグリーン液剤2	500倍	発生初期	200～700 $\frac{\text{mL}}{10\text{a}}$	5回以内	散布	日本曹達	20838	
イチイ	キンケクチフトゾウムシ成虫	DMTP乳剤	クマイスプラサイト乳剤40	1000倍	発生初期	200～700 $\frac{\text{mL}}{10\text{a}}$	5回以内	散布	クマイ化学	23021	
			JASフラスサイト乳剤40	1000倍	発生初期	200～700 $\frac{\text{mL}}{10\text{a}}$	5回以内	散布	全農	23022	
			ブロードハンター乳剤	1000倍	発生初期	200～700 $\frac{\text{mL}}{10\text{a}}$	5回以内	散布	クマイ化学	23231	
	キンケクチフトゾウムシ幼虫	カルボスルファン粒剤	ガセツ粒剤	2g/株	生育期		1回	株元散布	日産化学	17400	
			FMCガセツ粒剤	2g/株	生育期		1回	株元散布	エフエムシーケミカルズ	20794	
			石原ガセツ粒剤	2g/株	生育期		1回	株元散布	石原ハイオ	21046	
			ISKガセツ粒剤	2g/株	生育期		1回	株元散布	石原産業	23446	
	いちょう(種子)	コウモリカ	MEP乳剤	協友スミチオン乳剤	100倍	収穫60日前まで	0.3～3 $\frac{\text{mL}}{\text{樹}}$	3回以内	樹幹散布	協友アグリ	21949
ホクサンスミチオン乳剤				100倍	収穫60日前まで	0.3～3 $\frac{\text{mL}}{\text{樹}}$	3回以内	樹幹散布	ホクサン	22647	
いぬまき	アブラムシ類	アセタミフリト液剤	モスピラン液剤	500倍	発生初期	200～700 $\frac{\text{mL}}{10\text{a}}$	5回以内	散布	日本曹達	20102	
			マツグリーン液剤2	500倍	発生初期	200～700 $\frac{\text{mL}}{10\text{a}}$	5回以内	散布	日本曹達	20838	
	カイガラムシ類	アセタミフリト液剤	マツグリーン液剤2	250倍	発生初期	200～700 $\frac{\text{mL}}{10\text{a}}$	5回以内	散布	日本曹達	20838	
			キオヒエダシヤク	DMTP乳剤	スフラサイト乳剤40	1500～2000倍	－		5回以内	散布	全農
	クマイスプラサイト乳剤40	1500～2000倍			発生初期	200～700 $\frac{\text{mL}}{10\text{a}}$	5回以内	散布	クマイ化学	23021	
	JASフラスサイト乳剤40	1500～2000倍			発生初期	200～700 $\frac{\text{mL}}{10\text{a}}$	5回以内	散布	全農	23022	
	ブロードハンター乳剤	1500～2000倍			発生初期	200～700 $\frac{\text{mL}}{10\text{a}}$	5回以内	散布	クマイ化学	23231	
		アセタミフリト液剤2	マツグリーン液剤2	100～250倍	発生初期	200～700 $\frac{\text{mL}}{10\text{a}}$	5回以内	散布	日本曹達	20838	
いぬまき	ケブカトラカミキリ	エトフェンプロックス乳剤	トレボンEW	2000倍	発生初期	100～700 $\frac{\text{mL}}{10\text{a}}$	6回以内	散布	三井化学アグロ	18270	
			トレボンMC	2000倍	－	100～700 $\frac{\text{mL}}{10\text{a}}$	6回以内	散布	三井化学アグロ	19355	
	ケムシ類	エトフェンプロックス乳剤	トレボンEW	2000倍	発生初期	100～700 $\frac{\text{mL}}{10\text{a}}$	6回以内	散布	三井化学アグロ	18270	
			トレボンMC	2000～4000倍	－	100～700 $\frac{\text{mL}}{10\text{a}}$	6回以内	散布	三井化学アグロ	19355	
			アセタミフリト液剤	マツグリーン液剤2	250倍	発生初期	200～700 $\frac{\text{mL}}{10\text{a}}$	5回以内	散布	日本曹達	20838
	モンアシブトゾウムシ	エトフェンプロックス乳剤	トレボンEW	1000倍	発生初期	100～700 $\frac{\text{mL}}{10\text{a}}$	6回以内	散布	三井化学アグロ	18270	
いぬまき(伐倒木)	ケブカトラカミキリ	カーバム剤	NCS	被覆内容積1立方m当り原液0.5 $\frac{\text{mL}}{\text{m}^3}$	－	1回	加害された伐倒木を配置し本剤を散布し、直ちにビニール等で密閉し、くん蒸する。	ダウケミカル	6272		
					－	1回					
			ヤシマNCS		－	1回		住化グリーン	19249		
					－	1回					

残留農薬基準

殺虫剤－1

(注1) 本表は平成26年11月17日現在の基準値を掲載しています。この表の数値等を利用されるときは官報で最新版を確認してください。
(注2) 本表に掲載した農薬は、ゴルフ場、緑地等で使用される散布剤を選んでいます。
(注3) 作物は、農薬飛散影響の少ないイモ類、きのこ類、トロピカル作物は紙面の関係で除いています。

成分名	代表的商品名	米 (玄米)	小麦	大麦	ライ麦	とうもろこし	そば	その他の穀類	大豆	小豆類	えんどう	そら豆	らつかせい	その他の豆類	てんさい	さとうきび	だいこん類(ラディッシュを含む)の根	だいこん類(ラディッシュを含む)の葉	かぶ類の根	かぶ類の葉	西洋わさび	クレソン	はくさい
アセタミプリド	イールダー、マツガリン					0.2				2	0.4	0.4			0.2		0.2	5	0.1	5	0.05		0.5
アセフェート	オールドラン、ジェイエース					0.5			0.5	3		2	0.2	1	0.1		1	10	1	10	5	5	5
アラニカルブ	オリオン														0.1		0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
イソキサチオン	カルホス	0.2	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05		0.05	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
イプロジオン	インターフェース	3	10	10	10	10	10	10	0.2	1	0.2	0.2	0.5	0.2	1	0.05	5	5	5	5	5	5	5
イミダクロプリド	タフバリア、アドマイヤー	1	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	3	3	3	3	3	0.7	3	0.4	0.04	0.4	4	0.4	3	0.4	3	0.5
インドキサカルブ	トルネード、風神					0.02			5	0.2	0.2	0.2	0.02	0.2	0.05		0.05	5				14	1
エトキサゾール	バロック									0.3													
エトフェンブロックス	トレボン、サニーフィールド	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.5	0.1	2	10	2	10	0.5	2	5
エマメクテン	アフアーム、ショットワン			0.1	0.1	0.1	0.1	0.1									0.1	0.1	0.1	0.5	0.1	0.5	0.1
カルタップ	バダン、ルーバン	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2									3	3	3	3	3	3	3
カルバリル(NAO)	デナボン	1	2	5	5	0.1	3	10	0.2	1	4	4	5	4	0.1	0.05	1	1	1	10	4	10	1
クロチアニジン	ダントツ、フルスウィング	0.7	0.02	0.1	0.02	0.02	0.02	0.02	0.1	0.3	0.3	0.3	0.02	0.3	0.1	0.02	0.1	5	0.02	0.02	0.02	0.2	0.3
クロマフェノジド	マトリック	0.2				0.05			0.5						0.05		0.05	3					0.7
クロラントラニリプロール	アセルブリン	0.05	0.02	0.02	0.02	0.6	0.02	0.02	0.2	2	2	2	2	2	0.02	14	0.05	20	0.2	20	0.02	20	20
クロルフェナビル	コテツ					0.05				0.05					0.5		0.1	3	0.2	15			2
クロルフルアズロン	ナイスイーグル	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	1	1	1	1	1	1	0.2	0.05	2	2	2	2	2	2	2
シアントラニリプロール	エスベランサ	0.05							0.05								0.1	10					3
ジノテフラン	スタークル	2				0.1			0.1						0.2		0.5	10	0.5	5		5	2
シハロリン	サイハロン	0.5	0.05	0.2	0.02	0.04	0.02	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.05	0.5	1	0.5	0.5	0.5	0.5	1
シフルトリン	バイスロイド	2	2	2	2	2	2	2	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.05	0.5	2	0.5	2	0.02	0.5	2
シベルメトリン	アグロスリン	0.9	0.2	0.5	1	0.2	0.5	1	0.05	0.5	1	0.05	0.05	0.05	0.1	0.3	0.05	5	0.05	1	0.05	5	5
シラフルオフエン	シラトップ	0.3							0.1														
ダイアジノン	ダイアジノン	0.1	0.1	0.1	0.1	0.02	0.1	0.1	0.1	0.4	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
チアクロプリド	エコワン	0.1																					
チアメトキサム	アトラック、ビートルコップ	0.3	0.05	0.4		0.05		0.02	0.04	0.05	0.04	0.04	0.02	0.04	0.3		0.3	3	0.5		0.3	3	3
チオジカルブ	リラーク	0.5	2	2	0.3	0.02	0.1	0.02	0.2	0.05	0.1	0.05	0.1	0.05	0.5		0.5	2	0.5	2	0.5	2	2
テブフェノジド	ガードワン	0.3					5		0.3						0.05	1		10	0.3	10	10	10	10
テブフェンビラド	ピラニカ									0.2	0.2	0.2	0.2	0.2									
テフルベンズロン	ショットイン、ノーモルト	0.05	0.05	0.05	0.05	0.1	0.05	0.05	0.1	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.5	0.02	0.1	1	0.1	1	0.1	1	0.5
トリクロルホン(DEP)	ディブテレックス	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1			0.1	0.1	0.1	0.5	0.2	0.5	0.1	0.5	0.5	0.5	0.5
トリフロキシストロビン	インターフェース	2	0.2	0.5	0.05	0.05		0.05	0.08				0.05		0.05		0.1		0.1		0.1		0.5
ビフェントリン	パンチショット		0.5	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.3	0.3	0.3	0.3	0.1	0.3	0.2	0.01	0.05	10	0.05	4	0.05	2	0.5
ピリダリル	シバマル					0.05			0.2								0.1	5	0.5	15			1
ピリミホスメチル	アクテリック	0.2	1	1	1	1	1	1	0.1	0.1	0.05	0.1	1	0.1	0.05		1	1	1	1	1	1	1
フェントロチオン(MEP)	スミチオン	0.2	10	5	1	1	1	1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.5	0.1	0.2	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
フェノプカルブ(BPMC)	パッサ	1	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3								0.3	0.3	5	0.3	5	0.3	0.3	0.3
フェンチオン(MPP)	バイジット	0.3							0.05	0.1						0.3							
フルバリネット	マブリック		0.05	0.2	0.05		0.01	0.2			0.02						0.05	0.5					1
フルベンジアミド	スティンガー、フェニックス					0.05	10		1	1	1	1		1			0.1	10	0.3	25	0.3		5
プロチオホス	トクチオン								0.05	0.05			0.05		0.5	0.5							0.1
プロフェノホス	エンセダン	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.1		0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
ベルメトリン	アディオン、エンバー	2	2	2	2	2	2	2	0.05	0.1	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1	3	3	3	0.5	5	5
マラチオン	マラソン	0.1	8	2	2	2	2	2	0.5	0.5	0.5	0.5	8	8	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	6	2
メチダチオン(DMTP)	スブラサイド	0.02	0.02	0.02	0.02	0.1	0.02	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.05		0.05	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1

キャベツ	芽キャベツ	ケール	こまつな	きょうな	チンゲンサイ	カリフラワー	ブロッコリー	その他のあぶらな科野菜	こぼろ	サルシフィー	アーティチョーク	チコリ	エンダイフ	しゅんぎく	レタス(サラダ菜及びちしやを含む)	その他のきく科野菜	たまねぎ	ねぎ(リーキを含む)	にんにく	にら	アスパラガス	わけぎ	その他のゆり科野菜	にんじん	パースニップ	パセリ	セロリ	みつば
3	0.3	5	5	5	5	1	2	5				3	3	5	5	3	0.2	4.5	0.02	5	0.5	3	0.2			3	3	5
5	5	5	5	5	5	5	5	5	0.1		0.3	6	6	6	5	0.2	0.5	0.1	2	2		0.1	0.5			0.5	10	0.02
0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
5	5	5	5	5	5	5	25	5	5	5	5	1	5	5	10	5	0.5	5	0.1	5	5	5	5	5	5	5	5	5
0.5	0.5	5	5	5	5	0.4	5	5	0.4	0.4	2	3	5	3	3	5	0.07	0.7		1	0.7	2		0.4	0.4	3	4	5
1	12	12				0.2	0.2	12				14	14		14	14		2								14	14	
2	2	2	2	2	2	2	2	2	0.5	0.5	2	2	2	2	2	2		2		2	2	2	2	0.5	0.5	2	2	2
0.1	0.1	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.1	0.5	0.1	0.1	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5		0.5		0.5	0.5	0.5	0.5	0.1	0.1	0.5	0.5	0.5
3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
1	1	10	10	10	10	5	6	10	3	4	3	10	10	10	10	10	3	3	3	2	15	3	3	0.5	2	10	5	1
0.7	0.3	1	1	5	5	0.3	1	5	0.02	0.02	2	2	2	0.2	20	2	0.02	0.7	0.02	15	0.7	2	2	0.02	0.02	2	5	0.02
2		5	5	5	5		2	5							2			0.7				1				10		5
4	4	20	20	20	11	4	4	20	0.02	0.02	4	20	20	20	20	20		2			13			0.02	0.02	13	13	
1	0.3	10	5	10	10	1	3	10						20	20	20		3			0.5		0.7	0.2			3	3
2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
1						3	2								10		0.04	8									20	
2	1	10	10	10	10	2	2	10			5	5	5	20	25	5		15		10	0.5		0.7	1		5	5	5
0.4	0.4	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	2	0.5	0.5	2	0.5	0.5	0.5	2	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
2	2	2	2	2	2	2	2	2	0.5	0.02	0.02	0.02	0.5	0.02	2	2	2	2	2	2	2	2	2	0.1	0.02	0.02	0.02	0.02
1	1	1	5	5	5	1	1	5	0.5	0.05	1	4	5	5	2	5	0.1	5	0.06	6	0.5	5	6	0.05	0.05	6	3	1
0.1	0.1	0.05	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.05	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.5	0.1	0.1	0.1	0.1
5	5	3	5	3	5	5	5	5	0.3	0.3	0.5	3	3	3	3	3		2		2	0.1	10		0.3	0.3	3	1	
5	2	5	2	2	2	2	2	2	0.5	0.5	2	2	2	2	5	2	0.2	2	0.5	2	2	2	2	0.5	0.5	2	2	2
5	5	10	10	10	10	0.5	0.5	10				10	10	10	10	10										10	2	
0.5	0.5	1	1	1	1	0.05	1	1	0.1	0.1	1	1	1	1	1	1	0.02	1	0.02	1	1	1	1	0.1	0.1	1	1	1
0.5	0.5	0.2	0.5	0.5	0.1	0.5	0.5	0.1	0.5	0.5	0.1	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.05	0.2	0.5
0.5	0.1					0.5	0.5		0.1	0.1						4		0.7	0.05		0.07			0.1	0.1		4	
2	2	4	4	4	4	0.4	0.4	4	0.05	0.05	0.2		2		3	0.05		0.5		0.05	0.05			0.05	0.05	3		
0.2		15	15	25	15	0.3	2	15							20	5	0.05	5			3			0.3				
1	1	1	1	1	1	1	5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.1	0.5	0.5	0.05	0.5	0.5	0.5	0.5	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2		0.2	0.2
0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.5	0.3	0.3	0.3	0.5	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
0.5	0.5					0.5									3		0.1	0.5	0.1		0.2			0.02				
4	4	25	25	20	5	4	5	25							15			3			1			0.3			5	
0.2	0.2				0.2	0.2	0.2	0.2	0.1								0.1		0.1	0.1			0.1					
1	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
5	5	5	5	3	3	0.5	2	3	3	3	10	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	0.1	3	3	2	3
2	2	3	2	2	2	2	5	2	0.5	0.5	8	8	8	2	2	2	8	8	8	2	8	8	2	0.5	0.5	2	2	2
0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.05	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1

農薬関係法令

(1) 農薬取締法（抜粋）

昭和二十三年七月一日法律第八十二号

（目的）

第一条 この法律は、農薬について登録の制度を設け、販売及び使用の規制等を行なうことにより、農薬の品質の適正化とその安全かつ適正な使用の確保を図り、もつて農業生産の安定と国民の健康の保護に資するとともに、国民の生活環境の保全に寄与することを目的とする。

（定義）

第一条の二 この法律において「農薬」とは、農作物（樹木及び農林産物を含む。以下「農作物等」という。）を害する菌、線虫、だに、昆虫、ねずみその他の動植物又はウイルス（以下「病害虫」と総称する。）の防除に用いられる殺菌剤、殺虫剤その他の薬剤（その薬剤を原料又は材料として使用した資材で当該防除に用いられるもののうち政令で定めるものを含む。）及び農作物等の生理機能の増進又は抑制に用いられる成長促進剤、発芽抑制剤その他の薬剤をいう。

2 前項の防除のために利用される天敵は、この法律の適用については、これを農薬とみなす。

3 この法律において「製造者」とは、農薬を製造し、又は加工する者をいい、「輸入者」とは、農薬を輸入する者をいい、「販売者」とは、農薬を販売（販売以外の授与を含む。以下同じ。）する者をいう。

4 この法律において「残留性」とは、農薬の使用に伴いその農薬の成分である物質（その物質が化学的に変化して生成した物質を含む。）が農作物等又は土壌に残留する性質をいう。

（公定規格）

第一条の三 農林水産大臣は、農薬につき、その種類ごとに、含有すべき有効成分の量、含有を許される有害成分の最大量その他必要な事項についての規格（以下「公定規格」という。）を定めることができる。

2 農林水産大臣は、公定規格を設定し、変更し、又は廃止しようとするときは、その期日の少くとも三十日前までに、これを公告しなければならない。

（農薬の登録）

第二条 製造者又は輸入者は、農薬について、農林水産大臣の登録を受けなければ、これを製造し若しくは加工し、又は輸入してはならない。ただし、その原材料に照らし農作物等、人畜及び水産動植物に害を及ぼすおそれがないことが明らかなものとして農林水産大臣及び環境大臣が指定する農薬（以下「特定農薬」という。）を製造し若しくは加工し、又は輸入する場合、第十五条の二第一項の登録に係る農薬で同条第六項において準用する第七条の規定による表示のあるものを輸入する場合その他農林水産省令・環境省令で定める場合は、この限りでない。

2 前項の登録の申請は、次の事項を記載した申請書、農薬の薬効、薬害、毒性及び残留性に関する試験成績を記載した書類並びに農薬の見本を提出して、これをしなければならない。

一 氏名（法人の場合にあつては、その名称及び代表者の氏名。以下同じ。）及び住所

二 農薬の種類、名称、物理的・化学的性状並びに有効成分とその他の成分との別にその各成分の種類及び含有量

(2) 農薬を使用する者が遵守すべき基準を定める省令

農林水産省 環境省令第五号

農薬取締法（昭和二十三年法律第八十二号）第十二条第一項の規定に基づき、農薬を使用する者が遵守すべき基準を定める省令を次のように定める。

平成十五年 三月 七日
農林水産大臣 大島 理森
環境大臣 鈴木 俊一

農林水産省 環境省 平成一六年六月二十一日令第二号

（農薬使用者の責務）

第一条 農薬を使用する者（以下「農薬使用者」という。）は、農薬の使用に関し、次に掲げる責務を有する。

- 一 農作物等に害を及ぼさないようにすること。
- 二 人畜に危険を及ぼさないようにすること。
- 三 農作物等の汚染が生じ、かつ、その汚染に係る農作物等の利用が原因となって人畜に被害が生じないようにすること。
- 四 農地等の土壌の汚染が生じ、かつ、その汚染により汚染される農作物等の利用が原因となって人畜に被害が生じないようにすること。
- 五 水産動植物の被害が発生し、かつ、その被害が著しいものとならないようにすること。
- 六 公共用水域（水質汚濁防止法（昭和四十五年法律第百三十八号）第二条第一項に規定する公共用水域をいう。）の水質の汚濁が生じ、かつ、その汚濁に係る水（その汚濁により汚染される水産動植物を含む。）の利用が原因となって人畜に被害が生じないようにすること。

（表示事項の遵守）

第二条 農薬使用者は、食用及び飼料の用に供される農作物等（以下「食用農作物等」という。）に農薬を使用するときは、次に掲げる基準を遵守しなければならない。

- 一 適用農作物等の範囲に含まれない食用農作物等に当該農薬を使用しないこと。
 - 二 付録の算式によって算出される量を超えて当該農薬を使用しないこと。
 - 三 農薬取締法施行規則（昭和二十六年農林省令第二十一号。以下「規則」という。）第七条第二項第二号に規定する希釈倍数の最低限度を下回る希釈倍数で当該農薬を使用しないこと。
 - 四 規則第七条第二項第三号に規定する使用時期以外の時期に当該農薬を使用しないこと。
 - 五 規則第七条第二項第四号に規定する生育期間において、同項第五号に規定する含有する有効成分の種類ごとの総使用回数を超えて農薬を使用しないこと。
- 2 農薬使用者は、農薬取締法第七条第十二号に規定する最終有効年月を過ぎた農薬を使用しないよう努めなければならない。

(3) ゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁の防止に係る暫定指導指針値

(平成25年6月18日現在)

用途	農薬名	指針値 (mg/L)	用途	農薬名	指針値 (mg/L)	
殺虫剤	イソキサチオン	0.08	殺菌剤	トリフルミゾール	0.5	
	クロルピリホス	0.02		トリクロホスメチル	2	
	ダイアジノン	0.05		バリダマイシン	12	
	チオジカルブ	0.8		ヒドロキシイソキサゾール (ヒメキサゾール)	1	
	トリクロロホン (DEP)	0.05		プロピコナゾール	0.5	
	フェニトロチオン (MEP)	0.03		ベノミル	0.2	
	ベルメトリン	1		ボスカリド	1.1	
	ベンスルタップ	0.9			ホセチル	23
殺菌剤	イプロジオン	3		ポリカーバメート	0.3	
	イミノクタジンアルベシル酸塩 及びイミノクタジン酢酸塩 (イミノクタジンとして)	0.06	除草剤	アシュフム	2	
	エトリチアゾール (エクロメゾール)	0.04		エトキシスルフロン	1	
	オキシ銅 (有機銅)	0.4		シクロスルフアムロン	0.8	
	キャプタン	3		シデュロン	3	
	クロロタロニル (TPN)	0.4		シマジン (CAT)	0.03	
	クロロネブ	0.5		トリクロピル	0.06	
	ジフェノコナゾール	0.3		ナプロバミド	0.3	
	シプロコナゾール	0.3		フラザスルフロン	0.3	
	チウラム (チラム)	0.2		プロピザミド	0.5	
	チオファベートメチル	3		ベンフルラリン (ベスロジン)	0.1	
	チフルザミド	0.5		MCPAイソプロピルアミン塩 及びMCPAナトリウム塩	0.051 (MCPAとして)	
	テトラコナゾール	0.1		植調	トリネキサパックエチル	0.15

注1) 指針値は以下の式から算出している。

$$\text{指針値} = \{ \text{ADI} (\text{mg} / \text{kg} \text{体重} / \text{日}) \times 53.3 (\text{kg}) \times 0.1 (\text{ADIの10\%配分}) / 2 (\text{L} / \text{人} / \text{日}) \} \times 10$$

注2) 上表にない農薬であっても水濁基準値が設定されているものについては、その値の10倍値を指針値とする。

注3) 上表の指針値についても、今後新たに水濁基準値が設定された場合にはその値の10倍値を指針値とする。

なお、水濁基準値については、

環境省のホームページ (http://www.env.go.jp/water/dojo/noyaku/odaku_kijun/kijun.html#rv.html) に掲載しており、改定される場合もあるので、随時確認する。

(4) ゴルフ場における農薬使用者の農薬使用計画書の公表について

平成24年2月農林水産省より、「ゴルフ場における農薬の使用状況について、平成24年度より、農薬使用計画書の提出されているゴルフ場のリストを農林水産省のホームページ上で公表するとともに、本省並びに地方農政局等（全国9カ所）において農薬使用計画書の内容を一覧表に取りまとめたものを閲覧出来るようにする」との通知がありました。通知の内容は次の通りです。



23消安第4983号

平成24年2月8日

社団法人 緑の安全推進協会会長 吉村正機 殿

農林水産省消費・安全局農産安全管理課長

ゴルフ場における農薬使用者の農薬使用計画書の公表について

日頃より、農薬行政の推進に御協力いただきありがとうございます。

農薬取締法（昭和23年法律第82号）第12条第1項の規定に基づき、農薬を使用する者が遵守すべき基準を定める省令（平成15年農林水産省・環境省令第5号）が制定され、ゴルフ場において農薬を使用する者は、毎年度当該農薬を使用しようとする最初の日までに、農薬使用計画書を農林水産大臣に提出しなければならないこととされております。

今般、「「国民の声集中受付月間（第1回）」において提出された提案等への対処方針について」（平成22年6月18日閣議決定）において、国に提出される農薬使用計画書について、公表の方法や一部の都道府県に提出される計画書との関係の整理等、その取扱いについて検討して結論を得ることとされました。

これを受け、農薬使用計画書の公表について検討を進め、ゴルフ場における農薬の使用状況に対する国民の関心が高いことを鑑み、平成24年度より、農薬使用計画書の提出されているゴルフ場のリストを農林水産省のホームページ上で公表するとともに、農林水産本省並びに地方農政局、北海道農政事務所及び内閣府沖縄総合事務局において、農薬使用計画書の内容を一覧表に取りまとめたものを閲覧に供することといたしましたので、御了解願います。

つきましては、貴協会の会員に対し、このことについてご連絡いただけますようお願いいたします。なお、同様の趣旨の通知を社団法人 日本ゴルフ場事業協会理事長宛て発出していることを申し添えます。

樹木等の病虫害防除に関する手引き

(公社) 緑の安全推進協会ホームページ

<http://midori-kyokai.com> 一部改訂

1. 本手引き作成の目的

この手引きは、街路樹、公共施設内の樹木・植栽、住宅地やその周辺の樹木・植栽等（以下、樹木等といいます。）について病虫害や雑草の防除を行う場合に、農薬による人の健康や環境へのリスクを低減するために、施設管理者や農薬を直接使用する者（防除業者等）に遵守していただきたい事項をまとめたものです。

2. 樹木等における病虫害防除の現状・課題と対応方策

1) 樹木等における病虫害防除の現状と課題

都市環境に植栽された樹木等は、必ずしも好条件下で栽培されているわけではなく、適切な肥培管理を施さなければ生育が衰えることがあります。また、都市環境は一般に病虫害の天敵が少ないなど生態系の多様性に乏しく、時には病虫害が異常に発生することによって、有毒な毛虫の発生により人に被害が発生したり、枯死することはまれであっても美観を著しく損なうことがあります。

しかし、樹木等の病虫害防除は、農作物を生産する際の病虫害防除と比較すると、以下のような点が大きく異なります。

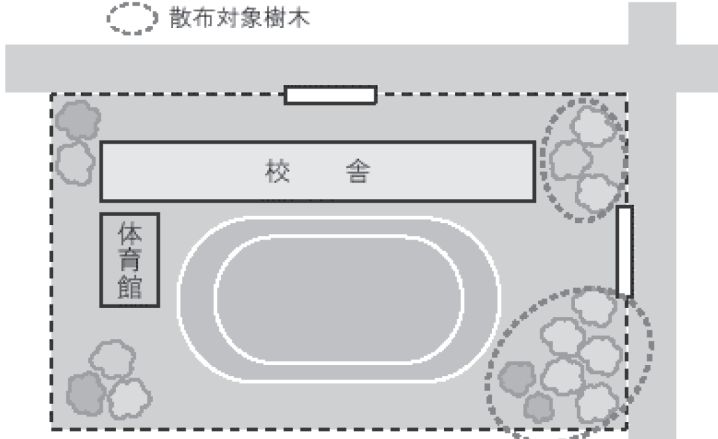
- ①住宅地周辺や人通りの多い場所で防除をすることが多いため、防除方法によっては、農薬に対する保護具などをしていない居住者や通行人など第三者の健康に対するリスクが高くなる。
- ②公共施設での防除作業は防除業者へ委託されることが多いため、施設管理者による作業の関与が不十分になる可能性がある。
- ③主に、樹木等の美観を損ねることを防いだり、害虫が大量発生して不快感を訴える人がでないようにする（時に有毒な毛虫の発生により人に被害が発生する場合もあるが）ことを目的とするものであるため、その必要性については関係者の意見が大きく異なる場合がある。

病虫害の防除の方法は、化学的防除（化学農薬を用いる防除方法）、機械的・物理的防除（熱、光、捕殺等による防除方法）、耕種的防除（害虫が発生しにくい植物に転換すること等の防除方法で捕殺をこれに含める場合もある）及び生物的防除（天敵を用いる防除方法）の4つに大別できます。このうち、化学農薬を用いる化学的防除は、一般的に労力がかからず、要する費用も少ないため広く行われている状況にありますが、一方で農薬は、その使用などが原因となって人畜に危険を及ぼすことがないよう、農薬取締法に基づき登録制度が設けられるとともに、農薬の製造、輸入、販売、使用が規制されており、さらに関係者に対する指導が行われているところです。

農林水産省は、農薬取締法の平成14年の改正で、「農薬を使用する者が遵守すべき基準を定める

- イ. 使用残の薬剤は密栓し、必ず保管庫に収納する
- ウ. 作業に着用した衣服は、下着まで全部取り替え、必ずよく洗う。また、翌日そのまま着用しない
- エ. 作業に従事した者は、全身を石鹸でよく洗い、うがいを必ず行う
- オ. 万一、農薬によって中毒を起こしたときは、医師の診療をうける
- カ. 散布した場所は、少なくとも当日は散布区域に縄囲いや立札を立てる等により、関係者以外の者の立入りを防ぐようにする

4. 関係者への通知（例）

殺虫剤散布のお知らせ	
日時	〇〇月××日 午前▲▲時～午前△△時（予定）
場所	校庭東側（サクラ１０本）
害虫の状況	・毛虫（アメリカシロヒトリ）が大量発生
散布殺虫剤	ディプテレックス乳剤（DEP:トリクロルホン） １５００倍希釈液 約１００リットル ★有機リン系（散布液を浴びないように注意）
次の気象条件の場合、散布を延期あるいは中止 ◆雨が降っている ◆雨の予報が高確率である ◆強い風が吹いている ◆近隣に影響を及ぼす風向である	
散布を実施した場合 ★週末の校庭開放は中止します ★□□日までは散布した木の下で遊ばないでください ★校庭で遊んだあとは、せっけんで手を良く洗い、うがいをしましょう ★散布場所に近づいて気分が悪くなった場合には、離れて新鮮な空気を吸いましょう	
安全管理責任者	▲▲小学校 校長 〇〇 〇〇
作業担当者	〇〇造園(株) 電話 XXX-XXXX
 散布対象樹木 構内図 	

農薬ラベルの確認ポイント

ポイント2

用途

殺虫剤、殺菌剤、除草剤などの用途を確認しましょう。

ポイント1

登録番号

登録番号の有無を確認しましょう。
登録のない農薬は使えません。

ポイント3

適用表

使用基準を確認しましょう。

- ・適用作物
- ・希釈倍数
- ・散布量
- ・使用時期
- ・総使用回数
- ・使用方法

商品名が異なっても
同じ有効成分が含ま
れる場合があるので、
総使用回数には注
意しましょう。

水稻用除草剂

農林水産省登録
第〇〇〇〇〇号

○○○○○1 丰口粒剂

△△△△△粒剂

【成分】 ■■■■■■.....○○○%

【性状】 類白色細粒

適用雑草・使用方法

*印は、本剤およびそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

[illegible]

効果・薬害等の注意

[illegible]

安全使用上の注意



最終有効年月(西暦下2けた)09.10

ポイント5

薬効・薬害の注意

作物に対する効果的な使い方や、薬害を避ける方法を確認しましょう。

ポイント6

最終有効年月

有効期限を確認しましょう。
西暦年下2桁と月が記載されています。

その他のポイント

毒劇物や危険物の表示を確認し、注意事項に従って取り扱しましょう。
空容器や空袋は適切に処理しましょう。

注意：「農林水産省登録番号」の記載がない「無登録農薬」は、農作物（樹木・草花を含む）の植えられているところやその予定地には使用できません。